海外レポート	中国 大連

新時代を切り拓く大連金普新区、大型プロジェクトが続々始動

趙　万利

＜大連金普新区　大型プロジェクト始動＞

11 月２日、大連金普新区は、第４四半期大型プロジェクトの集中起工式を行い、SKF 社大連第４期新工場の起工式を始めとして、大型プロジェクトの建設着工が相次ぎました。

今年の第 3 四半期までは、大連金普新区で投資額 500 万元以上のプロジェクトが計 1,209 件、投資総額は 1 兆 1,500 億元でした。全区で 1 億元以上のプロジェクトが 369 件開始・再開し、そのうち 1 億元以上の新規プロジェクトは 147 件、いずれも年間目標の 90%以上を達成しました。固定資産投資額は 363 億 8,000 万元で、対前年比 15.2%の増加になりました。

第 4 四半期に入り、大連金普新区は 52 のプロジェクトを開始、または開始予定で、前年同期比 30%増、投資総額は 224 億元、投資額は前年同期比 234.3%増となりました。主なプロジェクトは、SKF 第４期大連新工場建設、奇瑞自動車部品工業園建設、瓦軸集団の風力発電スピンドルベアリング建設、信基Ｖ谷自動車部品スマート製造インキュベーション基地、大連数谷新型基礎施設の建設、海洋経済工業園（２期）基礎施設の建設などです。

11 月２日に起工した SKF 大連第４期工場は、敷地面積約 9 万平方メートル、2024 年の完成・稼動を目指しており、主に風力発電、鉄道、重機、鉱山機械などの産業製造分野向けに対応しています。

【SKF 第４期工場予想図】

SKF 大連生産基地は 2005 年に設立され、SKF グループの中国最大の産業用ベアリング生産基地となっています。現在、大連生産基地の第１期から第３期までがすでに稼働しており、主に各種中型、大型の高性能精密ベアリングを生産しており、製品は風力発電、冶金、鉱山、セメント、材料輸送、建設機械、産業用モーターと産業用伝送、石油・ガスなどの分野で広く使われており、風力発電、スチール、鉄道などの幅広い産業分野で展開しています。

この建設プロジェクトが完了すれば、SKF 大連工場は SKF グループにおける世界最大の産業用ベアリングの生産拠点となります。また SKF は、第４期の新工場を「未来の工場」のモデルプロジェクトとして構築するだけでなく、生産能力と研究開発革新能力の強化を通じて、風力発電やその他の主要なグリーン産業により良く貢献することも目指しています。大連の研究開発センター建設により、SKF は設計、シミュレーション、試験、工程、研究開発能力の現地開発をさらに推進し、製造能力と研究開発能力の二重強化で企業のコア競争力を継続的に高めていくと言われています。

＜大連数谷新型基礎施設建設プロジェクト＞

もう一つ注目されているのは、大連数谷新型基礎施設建設プロジェクトです。本プロジェクトは、逍遥湾の中核ビジネス地区に位置し、総投資額は 67 億 8,500 万人民元で、主に人工知能生態革新区、産業インターネット実証区、クラウド・大型サービス産業区、ビッグデータセンターなどの新しい基礎施設を構築しています。

【大連数谷新型基礎施設建設予想図】

また、スマートセキュリティー、スマートアクセス、顔認証などの機能を備えたスマートパークを造る計画で、5G、ビッグデータ、クラウドコンピューティングなどのハイテクノロジーを使って、同パークの建設を強化し、知的相互接続を実現させることを狙います。政府、金融、産業のデータ資源を結集し、現在、金融業界の国内一流のメインデータセンターと災害復旧センターの基地を形成していく予定です。このプロジェクトの立ち上げにより、金普新区のデジタル経済産業の発展に向けた強固なインフラが出来上がっていくことになります。

【参照：以下中国語記事】
大連金普新区、大型プロジェクト続々始動

総投資額は 224 億元！大連金普新区の主要プロジェクトが開始！